

生産管理の課題改善と納期短縮の実践研修 -生産計画と工程管理で、納期を守れる現場をつくる-

対象	生産管理・工程管理に携わる従業員、現場リーダー
ありがちな課題	・ボトルネックが把握できておらず、思うように生産性が上がらない ・生産能力を超えた計画により、残業や納期遅延が発生している

ねらい	・工程管理に必要な視点、工程分析による現場改善の考え方を学ぶ。 ・生産計画の立案の進め方と、生産能力に合わせた負荷計画を学ぶ。 ・自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。
-----	--

時間	項目	内容	講義	演習	概要
9:30	工程管理とは	工程管理の目的(QCDの同時達成)	○		QCDを同時に達成する工程管理の目的と、4M(人・機械・材料・方法)の切り口による管理手法を学ぶ。演習で自社の工程を洗い出して改善点を検討し、作業手順書による標準化の重要性を事例から理解する。
		工程管理の手法(4M)と作業手順書	○	○	
11:00	工程分析について	工程分析とボトルネックの特定	○		各工程を細かく分析してムダを省く工程分析の考え方と、全体の生産能力を制約するボトルネックの重要性を学ぶ。演習でボトルネック工程の特定と改善策を検討し、ムリ・ムダ・ムラ(ダラリの法則)の視点も踏まえて、自社工程の見える化と改善効果の検討を実践する。
		【演習】ボトルネックの特定と改善		○	
		現場改善の3つの視点(ダラリの法則)	○	○	
		【演習】自社工程の「見える化」の実践		○	
13:30	生産計画の立案の進め方	生産計画とは	○		生産計画の目的と、大日程・中日程・小日程計画の体系を学ぶ。部品構成表(BOM)から必要部品数を求める演習を行い、所要量計算など計画作成の前準備を理解する。
		生産計画の作成手順と所要量計算	○	○	
14:15	生産能力に合わせた負荷計画	在庫管理とリードタイムの関係	○		リードタイム短縮の効果と在庫管理との関係を学ぶ。配布する生産情報に基づき、生産計画のシミュレーション演習を実施。納期遅延の対策案をグループで討議し、各社の取り組みを共有する。
		【演習】生産計画シミュレーション		○	
		納期遅延対策の検討	○	○	
15:30	生産計画精度向上のポイント	IE手法の活用(ECRSの原則)	○		生産性を科学的に高めるIE手法とECRSの原則、計画のモノサシとなる標準時間の構成・設定方法を学ぶ。実測データを用いた現場改善演習で改善の余地を検討し、自社の作業に当てはめて研修を締めくくる。
		標準時間の設定	○		
		【演習】IEによる現場改善演習		○	
16:30	(終了)				